

授業および教育環境等に関する学生アンケート実施報告

平成 30 年 6 月

東北大学大学院文学研究科
学務教育室教育改善担当

本報告は、平成 29 年度に学務教育室の教育改善担当において学生を対象に実施した「授業評価アンケート」および「教育環境評価アンケート」の結果をまとめたものである。文学部・文学研究科において「授業評価アンケート」が開始されたのは、平成 10 年度の後期、「教育環境評価アンケート」が開始されたのは平成 15 年度の後期からである。それ以降、学生の意見を授業および教育環境の改善により役立つように、質問項目を段階的にブラッシュアップさせながら今日に至っている。

「授業評価アンケート」の結果は各教員に授業毎に提示され、教員から必要に応じて教育改善担当にフィードバックをいただくことになっているが、本報告では文学部・文学研究科全体に関わる主要な質問項目に絞って、結果をお示ししたい。また「教育環境評価アンケート」の結果については、主要な質問項目の結果に加えて自由記述欄の記述（同内容のものを 1 つの記述としてまとめるなど、内容に若干の整理を施した）についても提示したい。これらのデータは、文学部・文学研究科の今後の方向性を考える上で、貴重な資料として扱われるべきものである。

なお、アンケート内容、実施方法等については、よりよいものとするために、今後も検討されるべきものであろう。忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

回答を寄せていただいた、学部生・院生諸君、ご協力、ご相談に乗っていただいた米屋功貴・教務係長をはじめとする教務系の事務職員の皆様、三浦秀一・前学務教育室長、土屋育子・前教育改善担当、長岡龍作・現学務教育室長に感謝申し上げます。

2018 年 6 月 30 日

東北大学大学院文学研究科
平成 30 年度学務教育室教育改善担当
永井 彰
籠橋俊光

【総評】

今年度は、授業評価アンケート項目の一部見直しを行った。類似する質問項目を統合し、質問内容の明確化を図ると同時に、アンケート記入・回収が授業中に行われるという時間の確保が難しい状況にあって、短時間でも必要な回答が得られるよう改善を試みた。その結果、昨年度同時期の総数と比べて、やや回収率が向上した（平成 28 年度 2878 人、平成 29 年度 3033 人）。

「授業評価アンケート」からは、「授業への出席」80%以上の回答が、学部・講義で 93.9%、学部・演習で 97.1%、大学院・講義で 99.2%、大学院・演習で 95.4%であり、また「授業への総合判断」の「非常に良い」「良い」の合計が、学部・講義で 87%、学部・演習で 94%、大学院・講義で 96.6%、大学院・演習で 94%であるなど、学部・大学院ともに各授業が円滑に行われており、学生の満足度も高いことがうかがわれた。

学生からの声を適切に吸い上げるために、今後ともアンケート内容の検討等は引き続き行う必要がある、また、各教員レベルでの授業改善の努力も不断に必要であるが、改善を要する大きな点は現段階においては無いように思われる。

「教育環境評価アンケート」からは、「学生生活全般」に関する満足度について「満足である」「まあ満足である」の合計が 79.2%であり、また、「各種ガイダンスやオリエンテーション」、「『学生便覧』『講義概要』の活用」など、他の質問項目においても昨年度とほぼ近い割合か、昨年度より向上したものもあり、学生の多くが文学部・文学研究科での生活全般に満足している傾向が見てとれる。しかしながら、検討を要する点もいくつか存在する。主なものを以下に挙げる。

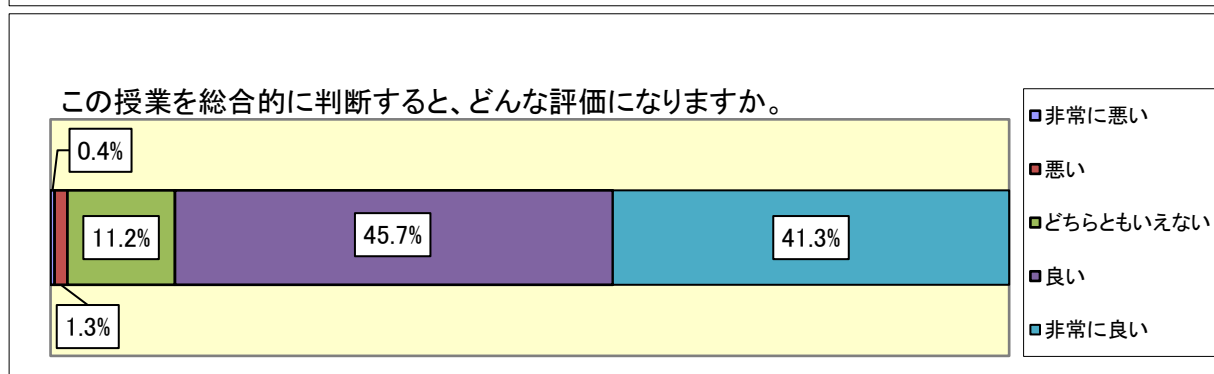
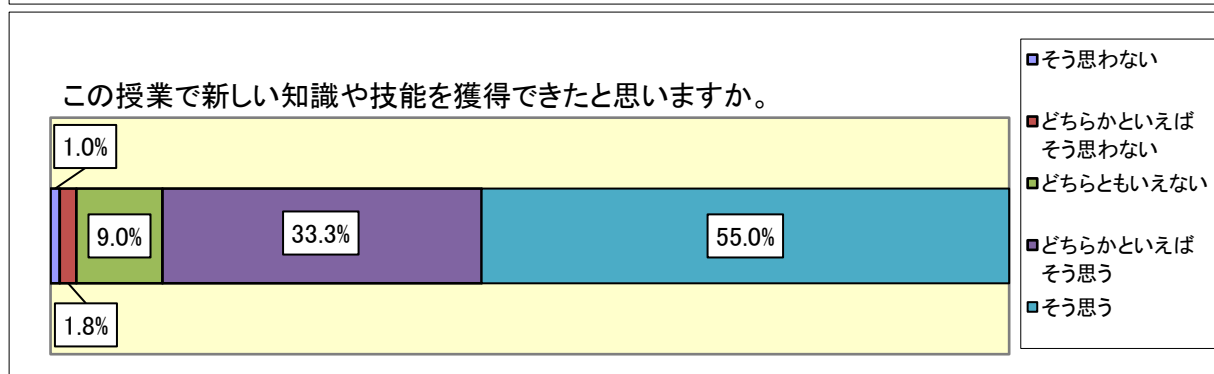
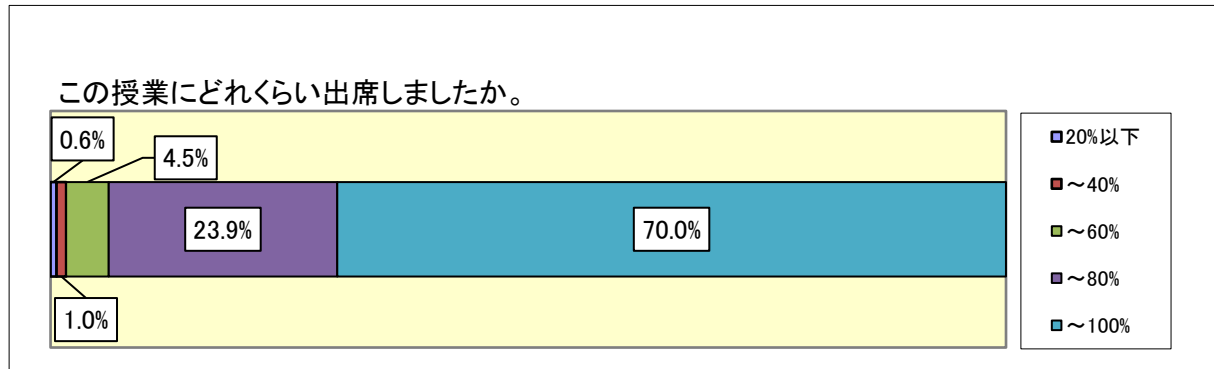
- ・各種ガイダンス・授業以外の講座等に関して、「役に立ったという話を聞かない」という意見が複数あった。

- ・研究室・教室等の設備に関して、複数名から改善を求める意見が寄せられている。具体的には、プロジェクター・マイク・暖房設備の不良の指摘、HDMI 端子への対応等の要望があった。暖房設備に関しては昨年度末リニューアル工事が行われたので、今後、アンケート結果の改善が期待される。

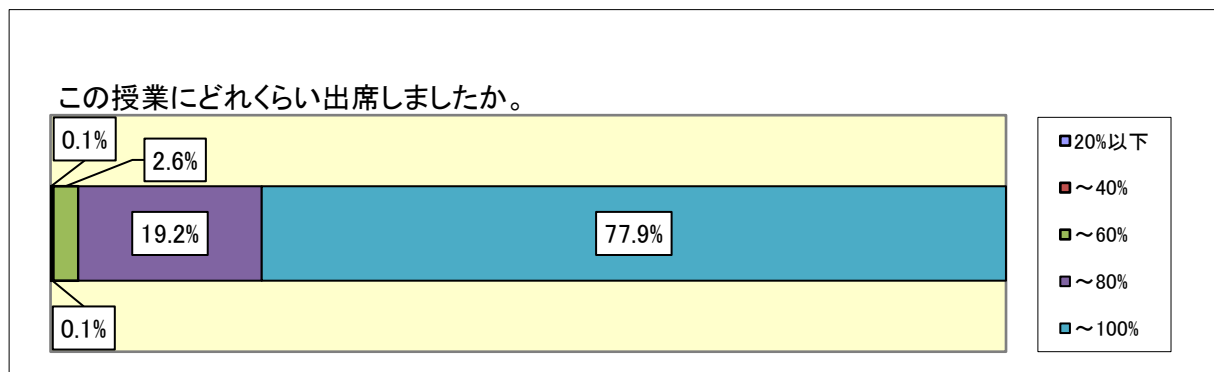
- ・その他、「文学部棟内の自動販売機設置」、「川南地区厚生施設の ATM 設置」などについて、複数名からの要望がある。

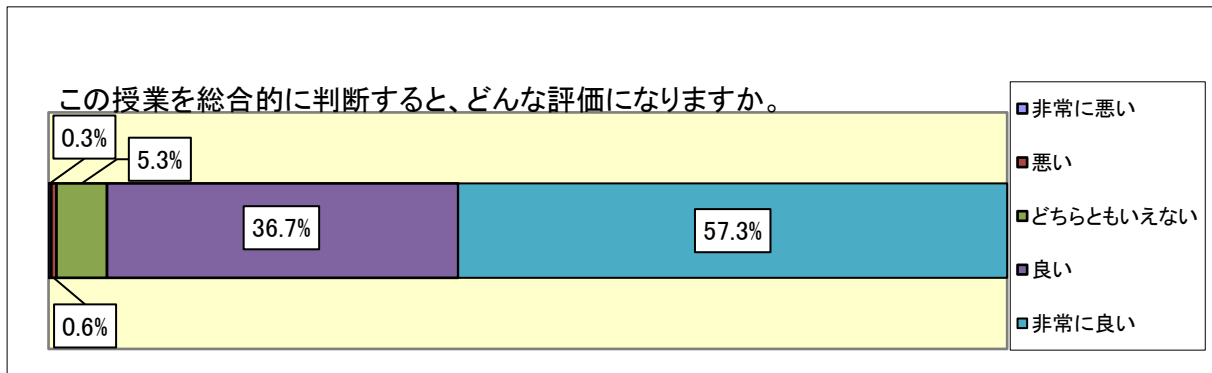
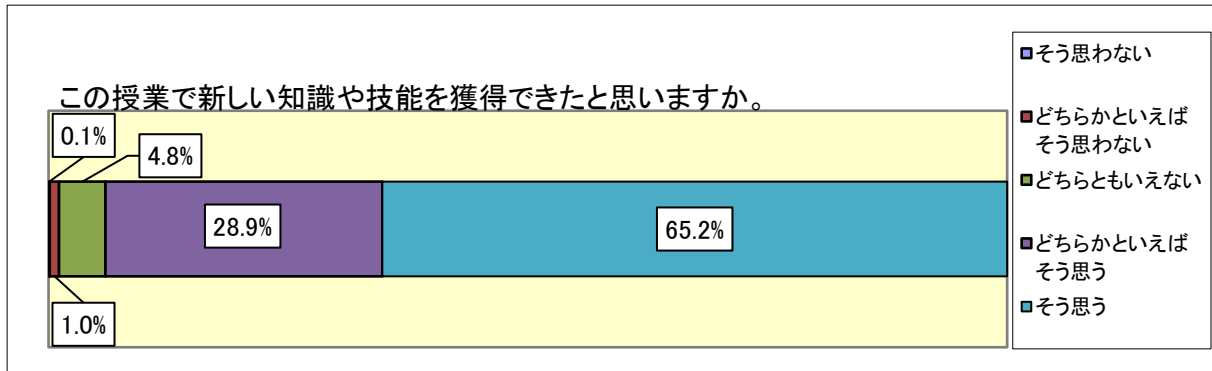
授業評価アンケート

学部・講義

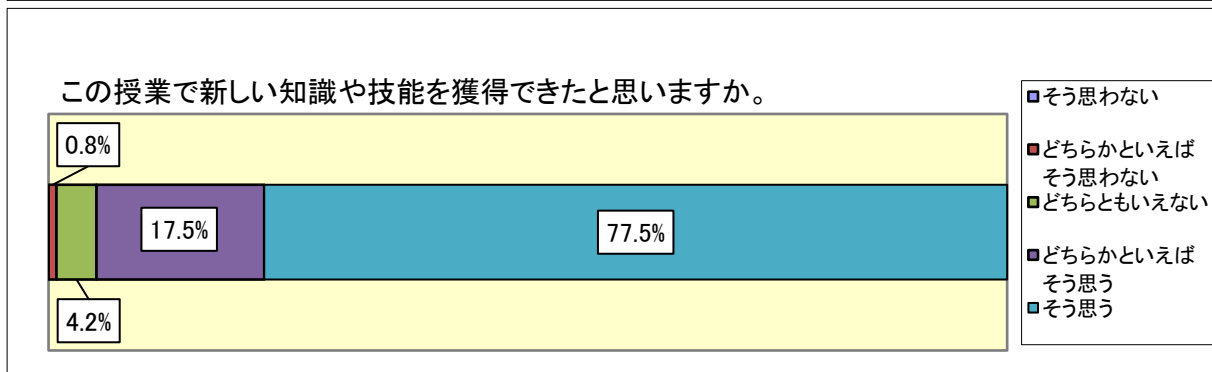
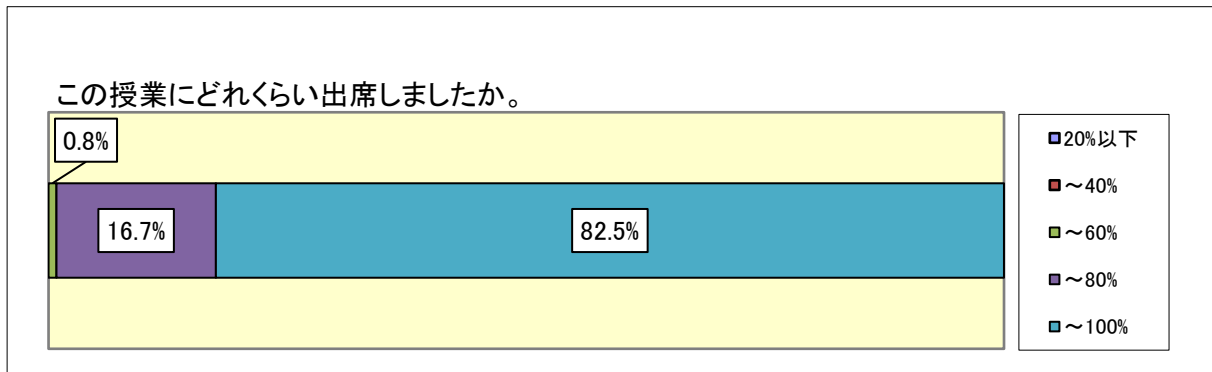


学部・演習

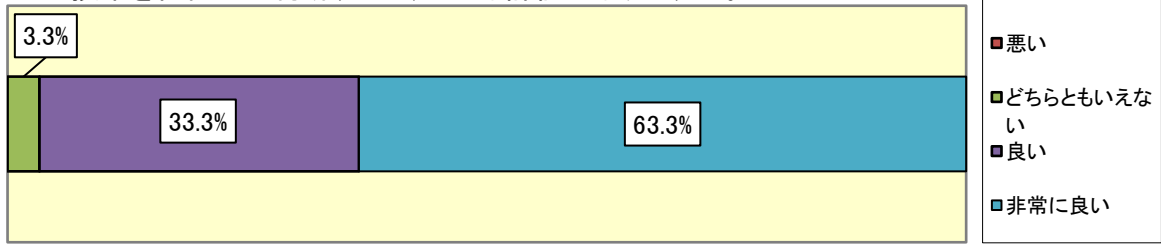




大学院・講義

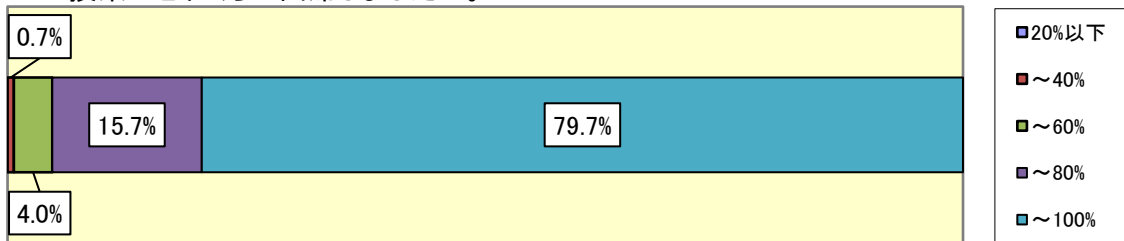


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

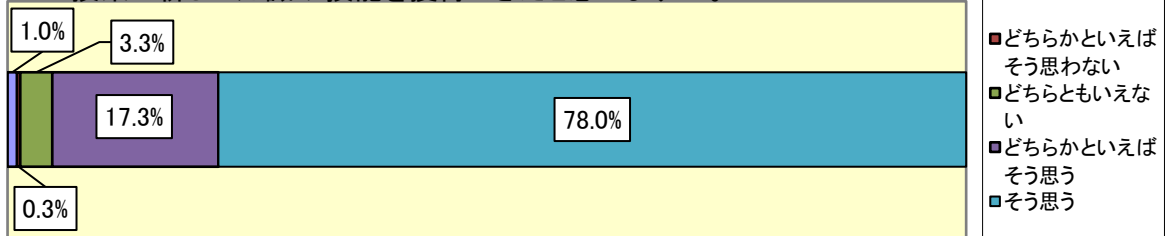


大学院・演習

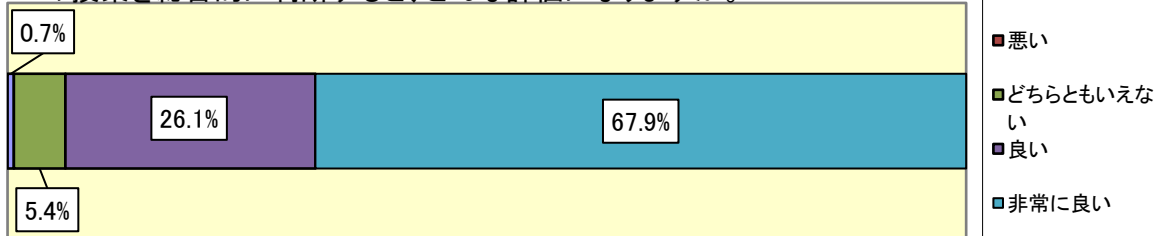
この授業にどれくらい出席しましたか。



この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。

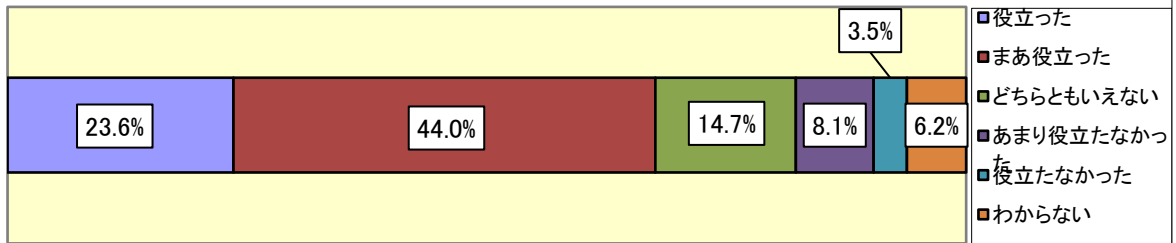


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

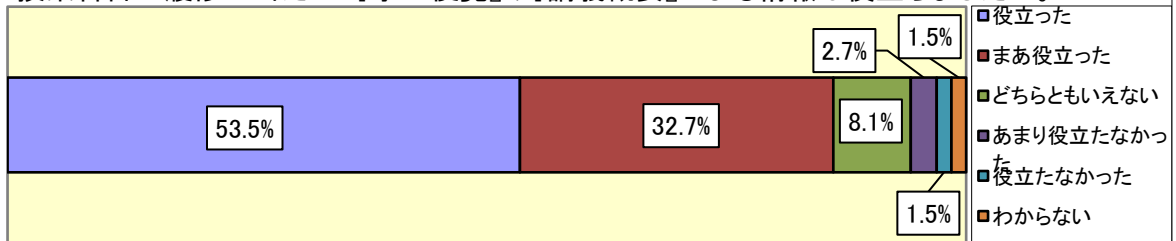


教育環境評価アンケート

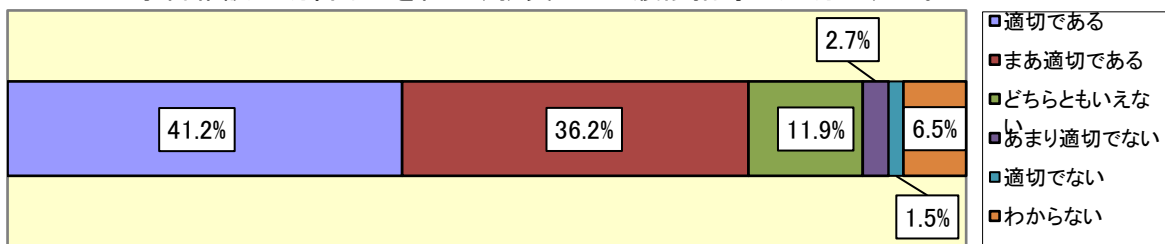
各種ガイダンスやオリエンテーションは履修科目の決定や学生生活に役立ちましたか。



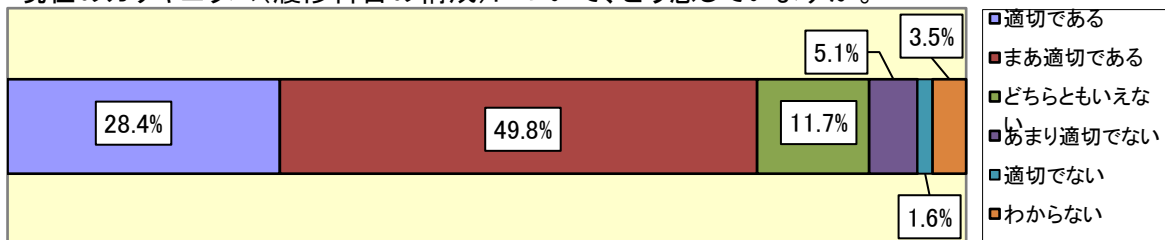
授業科目の履修に当たって『学生便覧』や『講義概要』による情報は役立ちましたか。



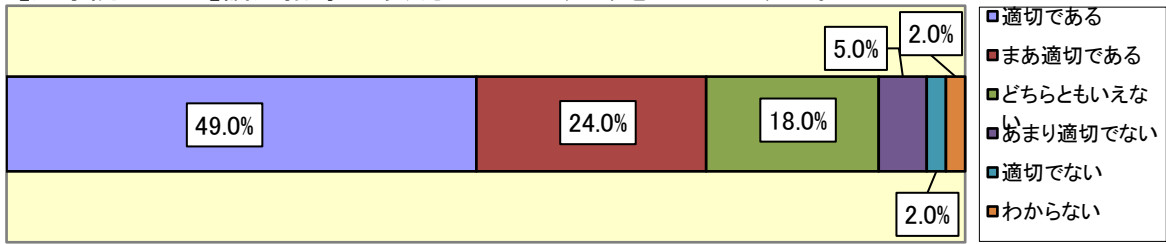
ふだんの学習相談や助言などを含め、教員による履修指導は適切ですか。



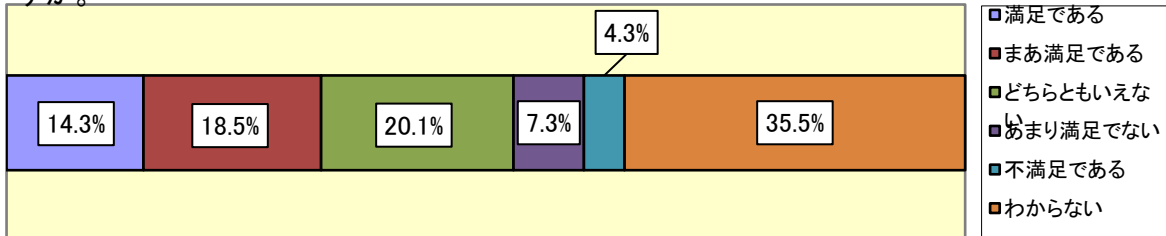
現在のカリキュラム(履修科目の構成)について、どう感じていますか。



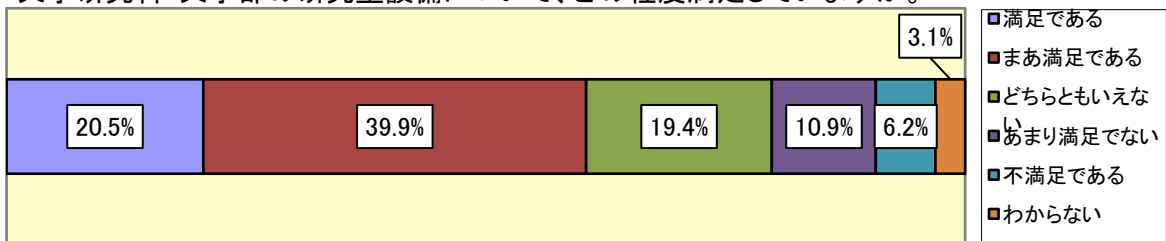
【大学院生のみ】論文指導のあり方について、どう感じていますか。



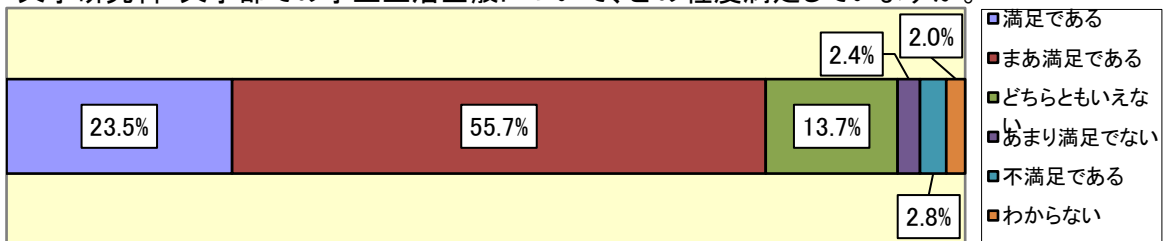
授業以外の講座(就職講座、公務員講座、教員養成講座)等について、どのように感じていますか。



文学研究科・文学部の研究室設備について、どの程度満足していますか。



文学研究科・文学部での学生生活全般について、どの程度満足していますか。



自由記述欄

(平成 29 年度分) (60 枚分。アンケート総回答数 : 255 枚)

◎授業の履修、単位の取得について

- 1) 2 年生以降の各専修で、履修することが望ましい全学教育科目があれば、第 1 セメスターの時点で知りたい。(希望する専修があればその時点で履修すると思うので) 例) ヨーロッパ史専修等でよく使う言語や、数学の知識があった方がよい学問分野等。(B4)
- 2) 留学する学生のことを考えて、3 年次の単位取得について考えて欲しい。(B4)
- 3) 教職の情報をもっとわかりやすくして欲しい。(B3)

◎講座・ガイダンス等について

- 1) 毎年秋/冬頃に修士 1 年、学部 4 年生に対する進路ガイダンスの様なものが行われているが、率直に言って役に立たない上に、授業時間と被っているため、時間が勿体ない。(M2)
- 2) 学生生活支援という名目の行事・イベントが増加してはいるが、そのほとんどが就職活動に関するもののように思われる。(M2)
- 3) 各種ガイダンスということでしたが、あまり就活・卒論に関するものが役に立ったという話を友人の間からも聞いていません。……精神面だけでなく、もう少し具体的にしてくれるとありがたいです。(B3)

◎窓口・シラバス・学生便覧について

- 1) 全体的に全学の方の教務係の態度が非常に悪く、毎回不愉快な思いをさせられる。文学部も同様にそのような人がいるので、改善すべきであると思う。(B3)
- 2) 教務係の対応は、川内北の人の対応より数段親切。ありがとうございます。(M1)
- 3) シラバスは最低研究室に一冊は紙のものを置いてほしい。(B3)、(M1) × 2
- 4) 休講情報・集中講義の情報を紙で掲示してほしい。(B4)
- 5) 教員・学芸員のモデルケースをシラバス等にのせてもらいたい。(M1)

◎教室・設備等について

- 1) プロジェクターやエアコン(暖房)の整備・点検を希望。(B2)、(B3) × 2、(B4 男)、(M1) × 3、(M2)、HDMI 端子への対応を希望。(B4) (D1)
- 2) 研究室の広さ、構造が研究室によって差がある。また可能ならば研究室共有の院生室ではなく、各研究室にそれぞれ別個の院生室が割り当てられると尚良いと感じている。(M2 男) (D3 女)
- 3) 教室に時計の設置を希望。(B3) × 2、(D2)
- 4) 教室に対し、席の間隔が狭いところがある。(B3 女)
- 5) Wi-Fi や eduroam-sal がつながりにくい。

◎図書館・厚生施設について

- 1) 川内の図書館のスタッフの方々の対応が雑だったり、態度がキツイ時がある。(B3)
- 2) 生協の営業時間をもう少し増やしてもらいたい。(M1) × 2、(M2) × 2
- 3) 文学部棟内に飲料の自動販売機、川内南に銀行 ATM の設置を希望。(B3) × 4
- 4) このアンケートは毎回まじめに提出しているのに、改善される様子がない。(特に生協の食堂) (D3)